



株主通信 第17期 中間期

平成27年10月1日から平成28年3月31日まで

東亜バルブエンジニアリング株式会社

株主の皆様へ

平成28年4月に発生した平成28年熊本地震により被災された皆様と関係者の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第17期中間期の株主通信をお届けするにあたりひとことご挨拶を申し上げます。

当中間期の業績は売上高が39億95百万円、経常利益99百万円と利益を確保することができましたが、前年同期の売上高は50億53百万円、経常利益6億4百万円に比べ大幅な減少となりました。これは前年同期に原発再稼働に向けた新規制基準への対応による設備投資案件が集中し、関連工事が増加したため好調でありましたが、当中間期は原発再稼働対策案件が縮小し、昨年の九州電力川内1・2号原発の再稼働に引き続きその他の原発も再稼働に向けた時期に差掛かっていることなどが減少に至った主な要因です。

当社を取巻く環境は、原発の再稼働が依然として不透明であり、また一部の40年超の原発プラントで廃炉が計画されていることや原発の代替電力を担う国内の新規火力プラントの建設計画も今後十数年で終息し、以後は新興国やアセアン諸国に向かうと予想されることもあり、今後も厳しい状況に変わりはありません。

このような背景から、当社の第17期は、今後想定される市場の縮小を克服するための戦略に焦点を当てることの中長期目標として当期の重要な課題と

考えています。この目標を具現化するためには、生産性の向上、持続的な成長に向けての顧客密着型営業の強化や海外市場への拡販活動及び除染から廃炉事業への移行等、全ての取組みが新たな収益源の創出に繋げるための経営使命そのものと考え、全力で真正面から取組む所存です。

また、当社を取巻く市場環境から単に生き残るだけでなく、更なる発展的な成長を成し遂げていくために、生産の形態や営業の形態の枠組みを越えた、新たな戦略的パートナーとして本年2月に株式会社キッツとの資本業務提携を実施いたしました。

当社が今後も変わらぬ姿勢でメーカーとして責任を果たすために、当社を育ててくれたマーケットに報い、電力事業という国の重要な基本インフラ事業に携わる事業者としての社会的責任を果たすために、引き続き業容の維持・拡大を目指した技術を価値に変えて稼ぐ力に繋げ、業績拡大に取り組んでまいります。

厳しい市場環境下、業績が安定しない状況ではありますが、株主の皆様には当社の事業活動にご理解をいただき、何卒、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
平成28年6月

代表取締役

真鍋 吉久

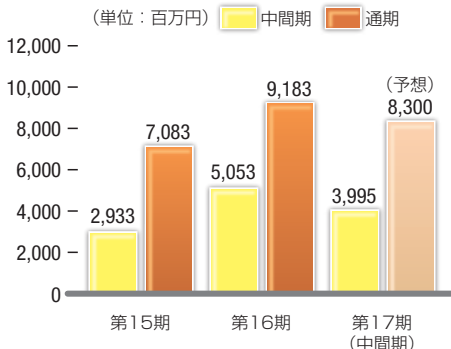


財務ハイライト (連結)

平成28年5月発表 業績予想数値

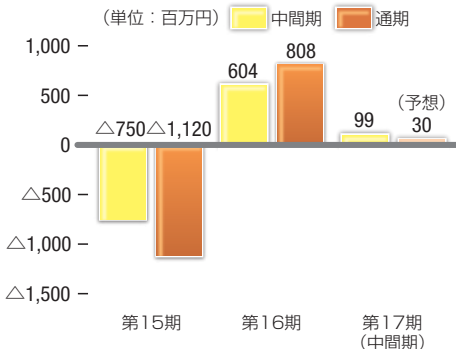
売上高 **39億95百万円**

(前年同期比20.9%減)



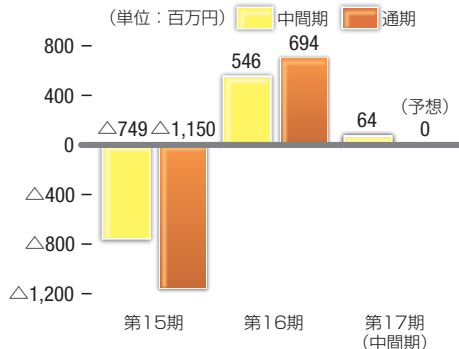
経常利益 **99百万円**

(前年同期比83.5%減)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 **64百万円**

(前年同期比88.2%減)



中間配当について

第17期の中間配当につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

1株当たり

15円

詳細な財務情報は、当社ホームページをご覧ください ▶▶▶

<http://www.toavalve.co.jp/>

株式会社キッツとの資本業務提携について

当社は、本年2月12日に株式会社キッツ（以下、「キッツ」という。）と資本業務提携契約を締結いたしました。また、同日付で当社の主要株主で筆頭株主である三菱商事株式会社の保有する当社株式302,200株（当社の発行済株式総数2,678,600株に対する割合は11.28%）がキッツに譲渡され、主要株主である筆頭株主が異動いたしました。

資本業務提携の理由

当社は、原子力・火力発電所向け高温高压弁の製造・販売・メンテナンスを主要な事業としており、特に原発向けバルブ事業は、当社グループの中核事業に位置付け、これまで幅広くバルブ製品の納入・メンテナンスを行ってまいりました。

しかし、福島第一原発事故以降、原発の運転再開の遅れから、収益基盤である原発向け定期検査工事が皆無となり、これまでよりも縮小した原発マーケットを補うための収益改善施策が必要であると考えました。

こういった状況に対応するため当社では、『七本の矢』作戦を2012

年より開始し、短期的には早期業績改善を、中長期的には経営基盤安定化を図るべく、収益・コストの両面から課題設定を行い、その解決のための検討・施策を精力的に進めてまいりましたところ、当社グループが行うバルブ事業全般に亘り協力関係を構築できるパートナーを得ることが、その有力な施策になり得るものと考え、この度、キッツと本資本業務提携を行うこととなりました。

キッツは、石油精製・石油化学分野を主要なマーケットとしてバルブ事業を展開しており、国内外に多数の製造・販売拠点を持つ、バルブ製造事業者としては国内第一位、世界でも十指に入る企業であり、国内のみならず世界レベルでそのブランドを確立しております。

当社とキッツは、長期的視点から両社の持つ強みを相互に取り入れ、協調してグローバル市場での競争力を高めていくことで、両社の企業価値の更なる向上を目指してまいります。

当社は、本資本業務提携により、今後さらに市場拡大が期待できる中国・アセアン地域諸国での火力発電向け事業への参入に向け努力を続けます。

業務提携の内容～5つの協力体制～

技術協力	TVEの高温高压弁技術
調達協力	キッツのグローバル調達によるTVEの海外競争力向上
生産協力	相互の生産拠点の活用
販売協力	キッツのグローバル販売網
サービス協力	相互のメンテナンス体制の連携

資本業務提携先の概要

(1)名称	株式会社キッツ
(2)所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀田 康之
(4)事業内容	バルブ及びその他の流体制御用機器並びに付属品の製造・販売
(5)資本金	21,207百万円

会社の概況（平成28年3月31日現在）

商号	東亜バルブエンジニアリング株式会社
英文	Toa Valve Engineering Inc.
証券コード	6466
所在地	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号 電話 06-6416-1184
設立日	平成12年3月16日
資本金	17億3,955万9,810円
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、 各種バルブのメンテナンス業務、除染及び廃炉関係
従業員	314名（連結343名）

株主メモ

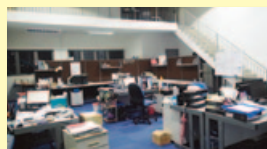
事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金 受領株主確定日	9月30日
中間配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）

NEWS ニュース

当社子会社 TOA VALVE OVERSEAS Pte. Ltd. 及び東亜クリエイト株式会社が移転

更なるサービスの向上を図るため当社子会社2社がそれぞれ移転いたしました。役職員一同心機一転、事業活動にまい進してまいりますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

TOA VALVE OVERSEAS Pte. Ltd. (移転日) 平成28年4月1日 (新住所) No.1 Sunview Road, #02-32 Eco-Tech Building Singapore 627615 (電 話) 6355-0027	東亜クリエイト株式会社 (移転日) 平成28年3月28日 (新住所) 福島県いわき市四倉町字東一丁目69番31 (電 話) 0246-84-8128
---	--



（ご注意）

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <http://www.toavalve.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)